

高橋 けいすけ

県議会報告

No. 48	自 宅／山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2022年10月28日	県議会／県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



人権が守られる政治を！

財政民主主義の否定 岸田総理は、安倍元総理の「国葬」実施にあたり、首相在任期間や選挙演説中に銃撃された経緯から「民主主義を頑固として守り抜く決意を示す」と正当性を言っておられましたが、何故国会を開いて議論しなかったのでしょうか。予備費を充当して対応しており、閣議決定から2か月近くも時間はありましたが、国会は開かれませんでした。

県や市町村でも、突発的な事故等が発生し、時間的余裕がなく議会を開けない時に予備費を充当する場合がありますが、それはあくまで予測不可能な事態に備えての事であります。この度の国の対応は、財政民主主義のルールを否定し、国会を蔑ろにした行為とも言えます。特に、新型コロナウイルス感染から、大幅に予備費が増えています。「コロナの何に使うのか分からない」予備費を、昨年から5兆円予算化し、議会のチェック機能が果たされなくなっています。「民主主義を守る」のであれば、少な

くとも国会を開いて議論を尽くすのがルールではないでしょうか。政治が、著しく劣化し私物化されている想いがしてなりません。緊張感のある国会を取り戻す事が求めています。

軍拡で平和は守れるのか ロシアにおけるウクライナ侵攻から8か月が過ぎようとしております。ウクライナ支援にあたって、アメリカなどは軍事支援を行っていますが、これではいつまでたっても終わりのない戦いになりはしないのか、疑問に思っています。経済制裁も有効とは思いますが、更なる外交努力が求められているのではないのでしょうか。

日本の軍事費を大幅に増やす動きがありますが、「平和な国際社会」を築くうえで求められているのは軍拡競争でしょうか。戦争の悲惨さを肌で感じ、「二度と戦争はしない」…その重みが現憲法となり、戦後77年弛まない努力の積みかさねにより平和が維持され、その重みを大切に多くの皆さんと一緒に頑張っ参ります。

生活を守る政治に 電気料金始めあらゆるものが値上がりし、加えて、円安によって輸入価格が高くなり、経済活動も生活も大変な状況になってきています。まさに、政治がしっかりしなければなりませんし、人権を大切にする政治を求めて努力して参ります。



▲「真の政治をとり戻そう！ 9.16集会」より



9月
定例議会

過去最大の補正額 418億17百万円

9月議会が去る16日から10月6日まで行われました。6月定例議会に引き続き物価高騰対策や新型コロナウイルス対策、そして8月3日の豪雨災害に伴っての災害対策の補正予算408億49百万円となり、補正額は昭和44年度以降過去最高額となりました。更に、10月3日に9億68百万円の追加補正を行い、一般会計の予算総額は7320億円452万円となりました。議会最終日に全ての議案が可決されました。



▲豪雨によって崩落した飯豊町の「大巻橋」

その主なものとして、豪雨災害対策として272億72百万円。被害総額としては過去最大の480億円となり、河川の護岸修繕、農業用施設の復旧、災害救助法適用の10市町村に対する応急経費、被災者の生活支援等を計上。物価対策として39億41百万円。肥料価格高騰に対する県単独上乘せ、施設園芸農業者向けの燃油支援。社会福祉施設の原油価格・物価高騰への支援、加えて、6月補正に引き続く支援策とし、売り上げや粗利減の中小企業や小規模事業者向け給付金、地域交通事業者の燃油高騰・車両維持支援。ウィズコロナ、ポストコロナに関しては4億1千万円を支援。大阪・名古屋に移住定住の相談窓口を開設するほか、インバウンドやチャーター便の誘致を図る。コロナ対策費として11億56百万円を追加して、児童養護、介護、障がい者各施設の感染抑止策や検査体制の充実を図ることとしております。

諸課題の対応として、山形新幹線の安全運行を図るうえで課題となっております福島県境の新トンネル整備に関して、JR東日本と共同でルート検討に必要なボーリング調査費として2億81百万円を債務負担行為（22年～24年の3年間）で行うこととしております。また、ウクライナからの避難者の受け入れ及び支援として16百万円が計上されました。

被災者生活再建支援策 スタート

この度の豪雨災害を受けて、県では国の支援が受けられない被災者に対して新たな支援策を定めました。適用要件は、中規模半壊以上の被害を受けた世帯で、国の制度支援を受けられない場合、最大3百万円（国と同じ）を県と市町村で同額支援することとしており、国から特別交付金が措置された場合は、2対1で対応する事としております。なお、豪雪における倒壊につきましては適用外となっています。

幸福度ランキング 総合7位

日本総合研究所が、2012年から2年毎に公表しています都道府県の幸福度ランキングで、本県が今年は7位に輝きました。素晴らしい結果であり、官民挙げて頑張っている成果ではないでしょうか。特に、非正規雇用が一番少ない県であることは雇用主や県の施策の結果であると思います。これまでの総合順位は31位→27位→22位→10位→8位→7位と着実に順位を上げ続けているのは、全国で本県だけのことです。

なお、調査内容としては、国の統計資料等を基に、人々の幸福度と関連性が高いと判断した全80の指標を設定して行っています。

総務常任委員会における質疑

指定管理の施設に支援を

電気料金や灯油の値上げ、そして物価高騰により、県の施設を管理している指定管理者から運営するのが大変になっている話を伺ったので、その事について県の今後の対応を質しました。現段階では、指定管理を契約している関係各課が聞き取りしており、影響度合いを把握して適切に対応していくとの回答でありました。※指定管理に携わっている皆さんからも声を寄せて頂ければ幸いです。

会計年度任用職員の処遇改善を

国の機関で働いている臨時の職員の方には、一時金の勤勉手当が支給されていますが、県や市町村で働いている臨時の職員（会計年度任用職員）の方には、勤勉手当が支給されていません。同一労働同一賃金からしても不平等であり、足かせとなっている地方公務員法を改正して早急に改善を図るよう対応を求めました。

山形県最低賃金 —時間額854円に—



山形地方最低賃金審議会は、8月10日に現行の822円を32円引上げ 時間額854円に改正するよう山形労働局長に答申を行いました。効力発効は、令和4年10月6日となっています。最低賃金は、山形県内の事業場で働く全ての労働者とその使用者に適用されるもので、常用・臨時・パートタイマー・アルバイト等の属性、性、国籍及び年齢の区別なく適用されます。

※最低賃金引上げの請願が毎年出ておりますが、自民党会派の賛同が得られず継続審議が続いています。

県民の皆さんを無料で招待 11/27日(日)

山形県企業局 コンサートin山形《演奏》山形交響楽団
会場：やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）

県の企業局では、水力発電をはじめ、太陽光、風力発電など再生可能エネルギーによる発電や県内23市町への水道水供給事業など、県民の安心・安全な暮らしと経済活動を支える仕事をしております。

このコンサートは、企業局の事業への県民の方々のご理解とご協力があって成し得ることから、地域社会への貢献を目的にスタートした事業です。

入場無料ですが、事前の申込みが必要となります。右記の方法でお申込みをお願いします。

申込方法

往復ハガキ1枚で2名様まで申し込み可能です。
応募多数の場合は、抽選となります。
※小学生以上が入場いただけます。

入場
無料

〈返信表面〉	〈返信裏面〉	〈返信表面〉	〈返信裏面〉
9900023 山形県企業局コンサート係 〒980-0001 山形市松波1-7-1 イグランドビル5F 株式会社イベントプロデュースガッツ内	※ここには何も 記入しないでください (白紙)	お名前 〒住所	①住所 ②氏名 ③電話番号 ④申込人数 ⑤往復ハガキを 必要事項を記入してください

※申込者の個人情報は本事業実施に関わる事項以外には使用しません。
※消せるボールペンは使用しないでください。

お問合せ…山形県企業局コンサート係

(株式会社イベントプロデュースガッツ内)

TEL 023-635-0576 (土日祝日を除く10:00~18:00)

申込締切… 11月11日(必着)【全席指定】



車椅子駐車場整備

(前) 市議会議員の方から誘われて、山形市の社会福祉事業団の車椅子駐車場の塗替え作業に参加してきました。

車椅子駐車場との出会いは、私が市議会議員の時代に酒田にお住いで脊髄を損傷している友人から連絡を受け、酒田の山居倉庫前にヤマザワ店が新設する際に、ヤマザワ社長さんをお願いし快諾してもらい、そこから県内に拡がり身体障がい者等用駐車施設がスタートしました。



身体障がい者の皆さんの生活福祉部長要請行動



悠創の丘

平成10年6月に開園して、早いもので24年目に入りました。県で設置した施設(公園)ですが、地元のNPO法人グリーンセンターとモンテデオ山形が平成18年4月から指定管理者として悠創館を含め管理運営を行っております。指定管理に当たっての課題をお聞きし、この度の総務常任委員会の質問に活かさせて戴きました。非常に見晴らしもよく、是非、利用されては如何ですか。開園時間は朝の5時から夜の10時までとなっています。

東北中央道 東根北一村山本飯田 10月29日開通 —山形—新庄間50分に短縮

この度開通する区間が完成した事によりまして、最上地域から関東方面まで高速道路で直接つながることになります。吉村県政において力を注いできた課題であり、ミッシングリンクの解消により、物流の効率化や地域の活性化そして観光振興、更には県立中央病院等の救急搬送の時間短縮など、その効果は大なるものがあるのではないのでしょうか。



(東北中央自動車道の村山インターチェンジ＝村山市河島)

県の試算によりますと、山形—新庄の所要時間は約50分とのこと。国道13号線との比較で50分程度短縮されるようであります。なお、東北中央道を構成する新庄市の国道13号「泉田道路」(延長8.2キロ)は来月20日の開通を予定しています。

一日も早いコロナの収束を

＝体調がおもわしくなく夜間や休日に受診を迷われるとき＝

- 新型コロナに関しては受診相談コールセンター (0120-88-0006 24時間受付)、その他の症状に関しては救急電話相談(#8500 毎日19時～翌朝8時)をご利用ください。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847



総務常任委員会(委員)、デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会(委員)